

衛生センターの延命化事業に関するサウンディング型市場調査の結果について

利根沼田広域市町村圏振興整備組合では、令和12年度に移管予定である沼田市外二箇村清掃施設組合衛生センターの延命化事業に関するサウンディング型市場調査を実施しましたので、その結果を公表します。

1 サウンディング実施の経緯

衛生センター（し尿処理施設）の延命化の検討をするに当たり、民間事業者等から広く意見、提案を求め、対話を通じて延命化のアイデア、事業実施の意向を有する民間事業者等を把握することを目的とする。

2 サウンディング対象施設の概要

- (1) 名 称 沼田市外二箇村清掃施設組合 衛生センター
- (2) 所 在 地 群馬県沼田市恩田町309番地1
- (3) 敷地面積 6594.32 m²
- (4) 建築面積 管理棟 189.41 m² 処理棟 1,074.96 m²
- (5) 延床面積 管理棟 370.07 m² 処理棟 2,340.93 m²
- (6) 処理能力 78k1（し尿：46k1/日・浄化槽汚泥：32k1/日）
- (7) 処理方式 高負荷脱窒素処理方式＋高度処理方式
- (8) 竣 工 平成9年3月31日

3 サウンディングの実施スケジュール

令和8年4月16日 サウンディング型市場調査実施要領公表

令和8年4月16日～5月15日 参加申込期間

令和8年6月11日 サウンディング調査の実施

令和8年7月以降 調査実施結果概要の公表

4 サウンディングの参加者数

1事業者

5 サウンディング結果の概要

- (1) 既設メーカー以外の参入について

- ・ 競争性の確保が期待できる一方で、既存施設に関する情報の把握が十分でないことから、施設の受入業務を継続しつつ、並行して工事を実施することは困難であり、発注者におけるリスク及び負担の増大が懸念される。
- ・ 参入条件として、既存プラントに関する情報の開示などが挙げられた。

（２）延命化工事内容について

- ・ 焼却設備を廃止することによる重油使用量の削減のみでは、CO₂排出量 20% 以上削減の達成は困難である。
- ・ 循環型社会形成推進交付金を活用するためには、焼却設備の廃止に加え、汚泥の助燃剤化等の資源化施策を実施する必要がある。
- ・ 助燃剤化設備を導入する場合、既存設備では助燃剤の場外搬出に対応できないことから、新たな搬出設備の整備と助燃剤化した汚泥の受入先を確保する必要がある。

（３）事業者による提案

- ① 焼却廃止（場外搬出）
 - ・ 交付金：対象外（×）
 - ・ 事業期間：2 年程度
- ② 助燃剤化（前脱水スクリーンプレス）
 - ・ 交付金：対象（○）
 - ・ 事業期間：6 年程度
- ③ 助燃剤化（後脱水ベルトプレス＋乾燥装置）
 - ・ 交付金：対象（○）
 - ・ 事業期間：6 年程度
 - ・ 導入条件：導入に伴う実機等の試験が必要
- ④ 助燃剤化（後脱水ベルトプレス＋サムズシステム）
 - ・ 交付金：対象（○）
 - ・ 事業期間：6 年程度
 - ・ 導入条件：導入に伴う実機等の試験が必要

6 今後の対応について

本調査の結果を踏まえ、費用対効果の高い改修内容を精査し、財政負担を抑えた最適な延命策を検討していく。